# 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目名(英) | 社会福祉入門(Introduction to Social Welfare ) | | | 授業コード | E022852 |
| 担当教員名 | 鍋田　耕作 | | | 科目ナンバリングコード | E10104 |
| 配当学年 | 1 | 開講期 | 後期 | | |
| 必修・選択区分 | 必修 | 単位数 | 2 | | |
| 履修上の注意または履修条件 | 卒業条件に必要な科目になりますので，必ず履修を行ってください。 | | | | |
| 受講心得 | 見ること，聞くこと，真剣に考えること，そして，自分の意見を持つことを心がけてください。 | | | | |
| 教科書 | | | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 講義中に適時紹介します。 | | | | |
| 関連科目 | 社会福祉原論、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、社会保障論など | | | | |

| | |
|---|---|
| 授業の目的 | 急速に進行する少子高齢化により福祉を取り巻く環境も大きく変化するとともに福祉に対する関心やニーズも増大し，かつ多様化しています。社会福祉の対象が普遍化し，今日ではすべての人を対象に，人間らしい生活ができることをめざしています。社会福祉の全体像を理解し，福祉活動への参加のきっかけになることを期待しています。 |
| 授業の概要 | 社会福祉の基本的な視点・価値、歴史的背景、各論の概要などについて理解を深めていきます。 |

| ○授業計画 | |
|---|---|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第 1 週 ： オリエンテーション・福祉とは<br>本講義の目的や到達目標について説明します。<br>福祉とはどのようなものなのかまず自分自身の抱いているイメージについて考えていきます。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | シラバスで授業計画等を確認する(予習)<br>配布資料の内容整理(復習) |
| 第 2 週 ： 私たちの生活と社会福祉<br>私たちの生活は歴史の中で大きく変化しています。日本人の生活も高度経済成長の過程で大きく変質し、核家族化の進行、少子高齢社会の到来によって、福祉は普遍化しすべての人々の生活課題となっています。私たちの生活と社会福祉との関連について学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習(予習:1h)<br>配布資料の内容整理(復習:1h) |
| 第 3 週 ： 社会福祉の考え方<br>社会福祉は人間の社会生活上に発生する困難や障害を軽減緩和し、人間らしい生活をおくることができることをめざすさまざまな活動の総体といわれています。社会福祉の言葉の由来と変化、社会福祉の基本的理念と定義について学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習(予習:1h)<br>配布資料の内容整理(復習:1h) |
| 第 4 週 ： 西欧における社会福祉の歴史 | 講義関連専門用語の調べ学習(予習:1h)<br>配布資料の内容整理(復習:1h) |

| | |
|---|---|
| 西欧における社会福祉生成の前身である慈善事業や博愛事業、社会事業などを通じて、現在の社会福祉への発展した過程、各国の社会福祉の特殊性を紹介し、我が国の社会福祉への影響について考えます。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | |
| **第 5 週 ： 日本における社会福祉の歴史①**<br><br>社会事業の成立以前から行われていたいろいろな慈善救済活動の経過をたどりながら、明治以降の社会事業、社会福祉の考え方やその背景、特徴等を明らかにし、今日の社会福祉へと発展した歴史を学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |

| | |
|---|---|
| **第 6 週 ： 日本における社会福祉の歴史②**<br><br>社会事業の成立以前から行われていたいろいろな慈善救済活動の経過をたどりながら、明治以降の社会事業、社会福祉の考え方やその背景、特徴等を明らかにし、今日の社会福祉へと発展した歴史を学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |
| **第 7 週 ： 社会福祉の活動領域について（外部講師による講義）**<br><br>社会福祉の領域，社会福祉士の活動領域について外部講師（大分県社会福祉士会）による具体的な事例をを通して学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |
| **第 8 週 ： 社会福祉の分野（障がい者福祉）**<br><br>社会福祉の領域のうち、障害者の福祉について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |
| **第 9 週 ： 社会福祉の分野（児童家庭福祉）**<br><br>社会福祉の領域のうち、児童の福祉について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |
| **第10週： 社会福祉の分野（DV）**<br><br>社会福祉の領域のうち，DV（ドメスティックバイオレンス）について，その概要と特徴，現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |
| **第11週： 社会福祉の分野（高齢者福祉①）**<br><br>社会福祉の領域のうち、高齢者の福祉についてその理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |
| **第12週： 社会福祉の分野（高齢者福祉②　外部講師による講義）**<br><br>11週目で学んだ高齢者福祉のなかで，今後増加していくことが予想されている認知症について理解し，認知症の人々やその人を取り巻く家族の支援について学習します。（認知症サポーター養成講座を兼ねる）<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |
| **第13週： 社会福祉の分野（公的扶助）**<br><br>社会福祉の領域のうち、低所得層の福祉について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |
| **第14週： 社会福祉の分野（更生保護）** | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |

| | |
|---|---|
| 社会福祉の領域のうち，更生保護制度について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | |
| **第15週： 社会福祉の実施体制**<br><br>社会福祉施設は社会福祉事業を行う重要な拠点です。施設はそれぞれの関係法に基づいて設置されているが、社会福祉施設の種類と体系、現状と課題等について学習します。<br>※リアクションペーパーの内容をもとに成績へ反映します。 | 講義関連専門用語の調べ学習（予習：1h）<br>配布資料の内容整理（復習：1h） |
| **第16週： 期末試験**<br>60分の試験を実施します。<br>※出題方法等に変更の場合があります。期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。 | |

| | | |
|---|---|---|
| **授業の運営方法** | （1）授業の形式 | 「講義形式」 |
| | （2）複数担当の場合の方式 | |
| | （3）アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| **地域志向科目** | カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 | |
| **備考** | 講義内容については，進行状況等により変更する場合があります。 | |

| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
|---|---|
| 【関心・意欲・態度】 | 社会福祉が自分の身近な生活に関連していることを理解し、現在の福祉問題に自分たちのこととして関心を持つことができる。 |
| 【知識・理解】 | 社会福祉の全体像を理解している |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | 講義の内容を踏まえて、自分自身の抱く・考える社会福祉について説明することができる |
| 【思考・判断・創造】 | 今日の社会福祉の諸分野の現状と課題について考察することができる |

| ○成績評価基準（合計100点） | | | 合計欄 | 100点 |
|---|---|---|---|---|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等（テスト） | レポート・作品等（提出物） | 発表・その他（無形成果） | |
| 【関心・意欲・態度】<br>※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | 10点 | | |
| 【知識・理解】<br>※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。 | 50点 | | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】<br>※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | 20点 | | |
| 【思考・判断・創造】<br>※「考え抜く力」を含む。 | | 20点 | | |

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|---|---|
| 成績評価方法 | リアクションペーパ等の提出物をもとに総合的に判断します。<br>［Sレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。<br>［Aレベル］単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている |
| レポート・作品等（提出物） | |
| 発表・その他（無形成果） | |